

会派を組みました（会派：志真会）

私を含める政党への無所属議員の3名と自民党議員3名である超党派の計6名で3月27日に新しい会派「志真会」を立ち上げました。40代5人50代1人という滑川市議会の中でも若い議員のほとんどで組んだ会派であります。多分、他の地方議員の会派の中でも若いメンバーでの会派でありかつ最大会派としては最も若い会派だと思います。会派の名前の由来は、前市長である上田氏が掲げられていた「市民が真ん中の政治」から市真会→志真会といったしました。

現市長の反対勢力と言われることもありますが、私たち仲間はそういった考えではなく、市民目線に立ち良い事は良い、ダメなことはダメもしくは良い内容に変えて提案をするといった『是々非々』の考え方で対応していくという思いの上に結束した仲間であります。

まだまだ、力不足な点もございますが、私も含めました6人へ温かい目で見ていただき、叱咤激励も含め応援していただければと思います。どうぞ、志真会をよろしくお願ひいたします。



1年を経過して思う事

滑川市議会議員となり1年が過ぎようとしております。この1年で疑問に感じた点を取り上げます。

1、これまで継続していた小学校、中学校での土曜授業が廃止となった件

新市長になり、いきなり土曜授業廃止を報道にとりあげられ、そのまま廃止となりました。それまで教育委員会として土曜授業には学力向上や多くの体験学習が受けられ子供たちにはメリットがあると言われていたのに、市長が変わったとたんに廃止というのは、いかがなものかと感じました。私は、多くの保護者に意見を聞き、それを議会で説明しました。賛否両論はあったものの即廃止には多くの方が疑問に感じていたのは確かでした。既に来年度の年間行事計画がたててあり、学校側も急遽変更作業に追われていたのも聞いております。土曜授業における先生方の大変さも聞いてはいますが、義務教育は、先生方のためにあるものではないので子供たちの事を中心にしっかりと協議した上で結論にもっていっていただきたかったです。

今年度末には、土曜授業に対する保護者意見を募ると教育委員会から返事をいただきました。そのようなことを後から行うのではなく初めに行った上で、しかも土曜授業に対する目的やこれまでの成果をはっきりと保護者や子供たちに伝えて上で進めていっていただきました。今後は、このような進め方をせずにしっかりと協議・議論して進めていただきたいと提言しました。

2、コンビニエンスストアでの住民票と印鑑証明書の発行に対する補正予算の件

6月度議会にて当会派（志真会）として「コンビニ交付」に対する修正案（コンビニ交付に対して見直しをしてもらう議案）を提出しましたが反対多数にて原案通りコンビニ交付を実施することとなりました。

コンビニ交付されることを前々から私自身も願っていましたが、6月議会に出てきた補正予算や市の説明を聞いて疑問に思い予算執行に対して反対いたしました。それが次の3つの観点からです。

①思ったよりも予算が掛かる事（イニシャルコストに約2,200万円（半額国負担）、ランニングコストとして毎年314万円、発行する度に1枚につき297円の手数料がかかる）

②市がニーズの把握をしていない。導入後のマイナンバーカードの普及率が上がるか等の予想していない。

③図書館で交付していることを広めていない。（平日午前9時～午後7時 土、日、祝日午前9時～午後6時）

市民サービスとして良い事を行うのは、予算を出してでも行うのが行政ではありますが、背景目的をしっかりと掲げずに、ニーズの把握や導入後の目標を定めずに税金を使うのはどうなのかと感じ、反対にいたってわけでしたが、届きませんでした。今後もしっかりと市民目線で物事をとらえて意見や質問をしていきます。

吉森まこと

～議員報告レポート①～

発行：志真会 吉森真人（無所属）

〒936-0023 滑川市柳原68-10

TEL:090-1543-9903



稽古照今

ご挨拶

向寒の候、皆様におかれましては2年半以上もの間、通常とは言えない日常の中で新たな生活スタイルを見出しながらお過ごしのことと思います。その様な中でも常日頃より多大なるご支援をいただき、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

まずは、10月に滑川市議会議員の当時の議長が不祥事をおこし市民の皆様に多大なるご心配、ご迷惑をおかけしたことと思います。市議会議員の1人として深くお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。今後、滑川市議会のイメージ回復のため私自身も気持ち新たにより一層襟を正しいでまいります。

改めまして、皆様に市政へ送って頂き約1年が過ぎました。私たちの住むこの滑川をより良くしたい、市議会に新しい風を吹かせたいという思いで立ち上がり、幅広い世代の多くの声を市政・議会へと届けたいという一心で、多くの人と会い、多くの人に支えられ、ご協力いただきながら活動いたしております。本当に感謝しかありません。

この1年間の議会の様子や活動してきた内容を報告させていただきます。

これからも、皆様が誇れるまちにするために、子供たちの明るい未来のためにも幅広い視点から市政に向かってまいります。まだまだ、至らない点もございます。どうか叱咤激励いただき、そして、多くのご意見を聴かせていただければと思います。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

右のQRコードは滑川市議会のホームページです。議会の日程や質問事項など載っています。



滑川市が主催した
SDGs de 地方創生
に、親子で参加
8月



中滑川複合施設
丸山へ行政視察
9月

滑川高校生徒会の皆
様と市議会議員との意
見交換会
11月



産業厚生建設委員会
の視察にて福井県小浜
市によつぱらいサバ稚
魚養殖施設見学
7月



令和3年12月度議会での質問

令和3年12月議会の様子(滑川市議会YouTube)



一般質問内容は大きく4点

- ①ICT教育について
- ②小規模特認校制度（東加積小学校）について

- ③地域コミュニティの活性化について
- ④市民との対話について

吉森 学校ごとにタブレットの活用の仕方にバラツキがあると聞くが、どのような指導・判断をされているのか。
伊東教育長 タブレットは学習の道具として、これまでの鉛筆やノートと同じように新たな文房具の一つとして、まず使ってみる、慣れ親しむということから活用してもらいたいと考えている。平成三〇年に滑川市教育情報化推進計画を策定しており、それに基づき進め、その後も改定したり、ガイドラインを作成したりして計画に基づいて実施している。ICT教育については、協議会さらには各校代表者での推進委員会を編成しており、学年ごとに目標を定め学ぶ範囲を決めているのでそれを参考にしてもらっていると思う。

吉森 他市町村では複式学級にしないように対策しているが、滑川市としては今後どのようにされるのか。
椎名学務課長 来年度の学級編成については確定していないので返答は控えるが、県の基準に合わせていくことになる。それに対して滑川市としても県教育委員会と連携しながら支援を考えたい。今年度のように他校と兼務している教員、支援員の他、スクールサポートスタッフやスタディメイトを配置し安心安全な学校生活が送れるように支援していく。

吉森 地区や町内でのイベントの開催に対する補助金、協力金等を伺う。

相沢企画政策課主幹 例えば地区であれば、公民館事業委託という形でふるさと教育、ふれあい活動といった目的に対して費用助成をしている。町内会へは、地域課題の解決に向けた取組のきっかけづくりとして「みんなでつくる協働のまち推進事業交付金」というものを設けている。

吉森 滑川市独自の市民と対話会（ビジョンセッション）の開催を考えたらいかがか。

相沢企画政策課主幹 県のビジョンセッションのような共通の課題をテーマに市民同士が議論を重ねて解決の糸口を見つけ提案するといった、提案型のワークショップもまちづくりにおいては有効と認識しており、今後どのような形で設ける機会があるかも含めて勉強していきたいと考えている。

令和4年3月度議会での質問

令和4年3月議会の様子(滑川市議会YouTube)



一般質問内容は大きく3点

- ①学校教育について
- ②滑川SDGsについて

- ③市長就任にあたって

吉森 水野市長が「土曜授業を廃止します」と公言されたが廃止に対する決定権はどこにあるのか。

椎名学務課長 教育委員会にあります。

吉森 3月4日に土曜授業の廃止が決定されたと言われたがそれは本決定なのか。

椎名学務課長 3月4日に総合教育会議を開催し、市長及び教育委員と十分な意思疎通を図りより一層民意を反映した教育行政の推進を図るということで会議しました。今後、定例教育委員会を開催して見直しについて決定していくと思っています。

吉森 土曜授業廃止の理由とは。

椎名学務課長 小学校では、家庭での時間を過ごすため、習い事、スポーツクラブへの参加、中学校では部活動の各種大会への参加等、学校外での活動が盛んになり、県内唯一滑川市が実施している土曜授業のため大会等が市外で開催され、土曜授業を欠席する児童・生徒がおり複数回欠席したということも聞いております。

吉森 土曜授業の即廃止が多くの民意なのか疑問に思っており、私自身多くの保護者に直接意見を聞きいた中、賛否両論あり、廃止・継続それぞれ半々であった。即廃止にても背景から目的、成果を公表して皆様に理解、納得いただけるものとしていただきたい。

椎名学務課長 8年間の成果や効果としては、様々な体験学習や探求のための学習、学習参観等もございましたので保護者や地域との連携した教育活動などを進めることができたと考えております。

吉森 コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動本部の整備について、具体的なスケジュールは。

椎名学務課長 地域の理解、協力が不可欠であるため、地域からの要望や学校の現状を踏まえた上で、今後導入を検討していくたい。

吉森 地域部活動についてどう考えているのか。

椎名学務課長 持続可能な部活動と教員の働き方改革の両方を実現させるためには、休日の部活動の在り方について検討する必要があり、令和4年度から地域人材を活用した指導者を一部配置し、休日の部活動指導に当たってもらうこととしております。

令和4年6月度議会での質問

令和4年6月議会の様子(滑川市議会YouTube)



一般質問内容は大きく4点

- ①滑川SDGs及び滑川版スマートシティについて
- ②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

- ③学校教育について
- ④にぎわいの創出について

吉森 水野市長のマニュフェストの中に来年度に滑川市がSDGs未来都市に選定されるとあるが、そのために2023年2月には提案書を内閣府地方創生推進室に提出しなければならない。現時点で具体的な課題や持続可能な取り組みについて考えているのか。

小川企画政策課長 地域課題の洗い出しや整理については本年度から段階的に実施していく、その過程で課題解決に取り組んでいただけるステークホルダーについても模索していきたい。具体的な取り組みについては、その後にステークホルダーとともに検討していくこととなるものと考えている。

吉森 2023年度で採択されることを目標とするなら年内には事業構築していくことが望ましいと思うが。

小川企画政策課長 2023年2月での応募は厳しいものを感じております。ただ、選定されることだけが目標というものではなく、その選定に向けてSDGsの理念を市民、市職員も含めて、広く浸透させ今後につなげたい。

吉森 国の原油価格・物価高騰等総合緊急対策の地方創生特別交付金として4,236万円が予算付けられた。滑川市は、農業漁業者、宿泊業者、タクシー業者に支援金を出すと言わたが、この業種に絞った理由とは。

長崎財政課長 各課と協議し、日常から燃料を多く消費し、原油高騰の影響を直接的に受けている業者とした。

吉森 国の言う生活衛生関係営業としては、クリーニング屋や理美容院、飲食店も含まれているし、他にも運送業があると思うがいかがか。

長崎財政課長 他の業種には、プレミアム付き商品券やキャッシュレス決済促進事業にて既に支援している。

吉森（仮称）中滑川複合施設の現時点での完成予定とオープン予定の時期を明示し頂きたい。

高倉まちづくり課長 完成時期については計画通り9月末を予定しており、10月には備蓄品を搬入し、避難施設として防災機能を確保する。また、賑わいの創出機能のうち既に出店内定している農産物直売所及び飲食テナント部分については、開店準備が整う11月にはオープンできるものと考え、それ以外の部分については施設利活用の方針が整った段階での供用開始として年度内を予定している。

令和4年9月度議会での質問

令和4年9月議会の様子(滑川市議会YouTube)



一般質問内容は大きく2点

- ①放課後児童健全育成事業について

- ②人口減少の対策について

吉森 厚生労働省の放課後児童クラブ運営指針に書かれている実践的な目的と意義の1つに運営の平準化がある。受入れ人数に余裕があるにも関わらず受入れを拒むなど施設によって隔たりがあってよいものなのかな。

牧田子ども課長 受入れ態勢が整っていてかつ受入れ人数に余裕があるにも関わらず、受入れを断るといったようなことがあってはならないと考えている。市としてもできるだけその差がないように標準化していくと思っているが、地域ごとの事情があると思っている。市としてもできる限りサポートしていくと考えている。

吉森 放課後児童クラブの放課後児童支援員及び補助員の人数は充実しているのか。滑川市放課後児童健全育成事業委託料算定要領の配置基準を満たしているのか。

牧田子ども課長 勤務時間帯等の条件から、新規の就労希望者が集まらないなどの課題もあるが、どの放課後児童クラブも配置基準を満たした上で運営していると考えている。令和4年度は全体で81名、うち指導員は53名で補助員は28名という状況である。

吉森 實施場所が学校から離れている寺家、南部、東加積小区の放課後児童クラブの移設を計画すべきでは。牧田子ども課長 3校区については、学校から離れていることなど安全上の課題があると認識しており、その対応について移転を含めて検討しているところである。今後の入学児童数などの推計を基に小学校の教室の活用状況なども勘案し、慎重に検討していくたい。

吉森 今後の出産・子育てしやすいまちづくりの対策について、何か具体的な策はあるのか。

牧田子ども課長 産婦人科の確保については、今後も県等に要望を続けていきたい。身近な地域の病院等で子どもを産み、小児科を受信できる環境整備は、少子化対策の一環として重要な課題であり子どもたちの健全育成のため医療体制の確保に努めてまいりたい。

吉森 コミュニティバスの自由乗降の今後の見直し等の見解は。

相沢生活環境課長 交通量や道路幅といった交通環境を踏まえたルートごとの実施区間の検証や、積雪期の実施状況も踏まえて対象の便の検証を行い、お客様からの意見も参考として来年度の本格運用につなげたい。